

安全で強^{きょうじん}な水道事業を



水道事業の持続化のため 経営戦略を策定しました

～水道事業を安定して継続していくための中長期的な経営の基本計画～

計画期間：令和4年度～令和13年度の10年間

水道事業が抱える課題

- ・水道施設の老朽化に伴う施設建て替えや耐震化に要する事業費の増加
- ・人口減少による給水人口減少、節水機器の普及等による水需要の減少
- ・南摩ダム完成翌年度から発生する水源開発負担金

今後の取り組み

- ・老朽化した水道管を計画的に交換
- ・水道施設や設備の規模・性能の縮小を検討
- ・茨城県が進める近隣市町との広域化の検討
- ・適切な水道料金のあり方を検討



水道の基本料金を免除します

新型コロナウイルス感染症による影響やウクライナ情勢に伴う原油価格・物価の高騰の影響を受けた市民の皆さんの経済的負担を軽減するため、水道の基本料金を免除します。

期間：令和4年7月検針分(8月請求分)から3カ月間

口径(mm)	1カ月あたりの基本料金(税込)
13mm	605円
20mm	704円
25mm	803円
30mm	2,002円
40mm	3,421円
50mm	6,182円
75mm	13,090円
100mm	23,155円

これからも安全でおいしい水を届けるため、水の大切さをお伝えしていきます！



【問】水道課(三和浄水場) Tel.76-3780

持続していきます



安全な水道を確保するため 思川開発事業へ参画しています

「思川開発事業」は、思川の支川に南摩ダムを建設し、治水や安定した水の供給を行うことなどを目的としています。令和6年度の完成に向け、独立行政法人水資源機構による関連工事が進められています。

古河市の水道水は、古河・総和地区は思川、三和地区は地下水から取水しています。現在、思川からの取水は「思川開発事業」に参画することを前提に暫定的な許可を得ていますが、河川の流量により通常の取水を行うことができなくなる場合があるなど、安定性に欠けています。

南摩ダム完成の翌年度から、市は水源開発負担金を支払うこととなりますが、**安定水利権を獲得できるため、より安全に安定した水が供給可能になります。**また、取水できる水量が増えるため、将来的に三和地区に思川の水を供給できるようになります。

(参画団体：栃木県、鹿沼市、小山市、古河市、五霞町、埼玉県、北千葉広域水道企業団)



南摩ダム完成イメージ図
(独立行政法人水資源機構思川開発建設所 提供)

古河市の水道に関する取り組みを紹介します！



水道事業キャラクター
思川みずたろう
思川に生息している全長50cmぐらいの川の妖精
趣味は川のバトロール



災害に備えて強^{きょうじん}な水道を維持します

古い水道管の交換

地震に強い水道管へ計画的に交換しています



応急給水対策

災害や事故に備えて、迅速に給水するための給水車や給水タンクの配備、給水袋を備蓄しています



家庭での水の備え

水道管の強化や応急給水対策をしていますが、災害の際は万が一に備え、必ず各自で水の備えをしておきましょう

人が1日に必要とする水の量は、約3リットルです。これを目安に、災害に備えて最低3日分の飲料水を用意しましょう。

また、お風呂の残り湯をためておくと、いざという時に生活用水として使えます。

